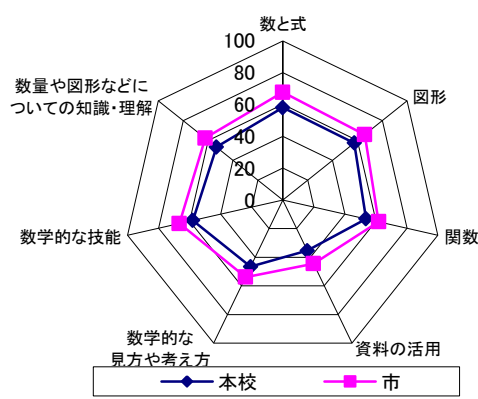


宇都宮市立国本中学校 第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	58.1	67.7
	図形	57.4	65.9
	関数	53.6	61.7
	資料の活用	35.5	44.4
観点別	数学的な見方や考え方	46.6	53.9
	数学的な技能	58.1	66.7
	数量や図形などについての知識・理解	53.3	62.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	市の平均から－9. 6ポイント。同類項をまとめるという、最も基本的な問題で20ポイント以上下回っている点が目につく。	全領域に共通して、基礎力不足が明白になっている。また、図形領域や資料の整理の領域で見られるように、1年生で学習してからほとんど目にしていない用語は忘れ去られている状態で、根気強く反復練習をしていく必要がある。 授業中に計画的に復習の時間を盛り込むと同時に、学年ともタイアップして、家庭学習に計画的に取り組む姿勢を身につけさせていきたい。
図形	市の平均から－8. 5ポイント。特に、見取り図・投影図・球の体積といった1年生の内容では15ポイント以上も下回る結果となった。	
関数	市の平均から－8. 1ポイント。表から関係式をつくる問題では唯一市の平均を上回ったが、直線の平行と係数の関係といった、比較的応用的な要素を含んだ問題は、ほとんど理解されていないようだった。	
資料の活用	市の平均から－8. 9ポイント。ここでも、相対度数・有効数字といった1年生で学習した事柄がほとんど忘れられている様子が伺えた。	